

# 春号

第136号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827  
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23  
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- |          |           |            |          |           |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会  | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会  |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会  | 市川交通安全協会   | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会  | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所 社団法人・山梨県トラック協会 山梨県タクシー協会 社団法人・山梨県バス協会  
 山梨県自動車販売店協会 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 社団法人・山梨県自動車整備振興会 山梨県二輪車安全普及協会  
 山梨県自転車軽自動車商協同組合 社団法人・山梨県建設業協会



県警察「さちかぜ号」の巡回指導でちびっ子も交通ルールを楽しく勉強 =石和・博愛保育園

# 事故防止 あなたが主役

春の全国交通安全運動 4月6日から15日

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に実施されます。この運動は、国民の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の実現を狙いとしています。

運動の期間中、県内でも山梨県、山梨県警察、山梨県交通安全協会をはじめ、関係機関・団体が協力して、地域に密着した街頭指導や交通安全活動などのPR活動を繰り広げ、運転者、歩行者、幼児、児童、学生、高齢者らに、交通安全の大切さを呼び掛け、交通事故の減少に取り組みます。

県民一人ひとりが、交通安全の主役です。正しい交通ルールとマナーを実践する大切さを再確認し、交通事故の防止に努めましょう。

＝関連記事を5面に掲載

## 交通安全カレンダー

- 平成13年4月6日～15日 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 夏の交通安全防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成14年1月 交通安全推進県民大会

## 内容紹介

- |    |                   |      |                 |
|----|-------------------|------|-----------------|
| 2面 | 理事会・評議員会と平成13年度計画 | 5面   | 各地区の安協が積極活動     |
| 3面 | 交通安全推進県民大会        | 6面   | 交通安全協会の特典が魅力アップ |
| 4面 | 平成12年の交通事故発生状況    | 7、8面 | 協賛7団体、交通安全に尽力   |

## 交 差 点

平成十二年中に発生した山梨県の交通事故をみますと、死者数は八十一人と二年連続して九十人未満の目標を達成しました。死亡事故抑止に取り組んだ関係者の努力が、実った結果といえるでしょう。

しかしながら、交通事故の発生件数は七千五百二十五件、傷者は九千九百三十五人と、統計史上最悪の数値を記録した一昨年を、さらにそれぞれ一〇%以上も上回ってしまいました。極めて厳しい情勢となっています。

このように、交通事故が増加傾向をしめしている背景には、依然として車両台数や運転免許の保有者数が増加しているのに加え、自動車を使用する機会が増え、道路が混雑する状況が、一層進んでいることなどが挙げられます。しかし、なんとといっても、道路利用者の安全意識やマナーの欠如が、事故を起こす最大の要因となっているのではないのでしょうか。

特に本県では、山梨方式といわれている交差点の右折方法、飲酒運転の横行、さらには二年連続して全国ワースト・ワンとなってしまったシートベルト着用率など、早急に是正していかなければならない課題が、数多く存在しています。

二十一世紀を迎えました。県民誰もが安心して道路を利用できる新世紀にふさわしい街づくりを目指し、また、道路を利用するすべての人々が、新たな気持ちで交通安全について考え、実践していくことはありませんか。





# 安協加入で魅力的な特典

## 新メリット制度

### マップ配布／無料で法律相談／見舞金を贈る

交通安全協会は、皆さま方の会費を主たる財源として運営されています。貴重な財源は①高齢者や子供を中心とした交通安全の指導・教育②各種の交通安全運動で実施する街頭指導③交通安全のための広報・啓発活動④地域で各種イベントを開催する際の交通整理・誘導など、幅広い交通安全活動に生かされております。

また、こうした活動の多くは、各地区の交通安全協会役員のボランティア活動によるものです。

平成十三年四月一日以降に、協会に加入された会員の皆さまに対し、次のような特典をご用意しました。

①セーフティ・ドライブ・マップの無償配布  
山梨県を中心としたドライブ・マップに、県内の交通事故多発地点を表示した資料を配布いたします。安全運転の参考にしてください。

②無料相談制度と訴訟費用の無利子貸付制度  
交通事故にかかわる民事問題など交通トラブルでお困りの会員は、委託弁護士の無料法律相談が受けられます。訴訟に発展した場合には、訴訟費用を無利子で貸し付けます。限度額は三十万円です。

③交通事故被害者に見舞金を贈ります  
会員が不幸にして、交通事故により死亡あるいは後遺症が生じた場合には、十数万円の見舞金を贈ります。保証期間は、加入日から三年間です。

なお、メリット制度の詳細については、山梨県交通安全協会(電話055・237・7827)へお問い合わせください。

交通安全協会の事業や活動については、協会のホームページ(アドレス <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)にアクセスしてください。

- 交通安全協会 入会の問い合わせ先
- 山梨県安全運転学校  
400-0205中巨摩郡八田村野牛島1828  
☎055・285・1122
- 山梨県安全運転学校都留分校  
402-0051都留市下谷3-2-2  
☎0554・43・0031
- 地区交通安全協会
- 甲府  
400-0032甲府市中央1-10-1  
☎055・227・6208
- 南甲府  
400-0854甲府市中小河原町404-1  
☎055・243・1617
- 小笠原  
400-0305中巨摩郡御形町十五所759-2  
☎055・284・0455
- 韮崎  
407-0024韮崎市本町三丁目5-10  
☎0551・23・6050
- 長坂  
408-0021北巨摩郡長坂町長坂上条2575-79  
☎0551・32・7110
- 諏訪  
400-0502南巨摩郡穂積町最勝寺1306  
☎0556・22・7781
- 南部  
409-2212南巨摩郡南部町南部9335-1  
☎05566・4・2303
- 市川  
409-3601西八代郡市川大門町580-3  
☎055・272・5611
- 石和  
406-0031東八代郡石和町市部555  
☎055・262・0338
- 日下部  
405-0041山梨市北261  
☎0553・23・4100
- 塩山  
404-0036塩山市熊野105  
☎0553・33・4701
- 都留  
402-0051都留市下谷三丁目2-18  
☎0554・45・8110
- 富士吉田  
403-0016富士吉田市松山5-10-13  
☎0555・23・8531
- 大月  
401-0016大月市大月町真木197-3  
☎0554・22・6788
- 上野原  
409-0112北都留郡上野原町上野原3819  
☎0554・62・4600

## 安協から

小笠原交通安全協会では六百七十名が、交通事故のない安全で住み良い地域づくりのために、警察署をはじめ関係機関、団体の協力を得て、地域の交通安全活動に頑張っております。

昨年の小笠原警察署管内の交通事故発生状況は、件数が五百一件、死者六人、負傷者六百四十五人と件数、死者、負傷者のすべてが一昨年より、上回ってしまいました。

昨年一年間は、春・秋の全国交通安全運動に加えて、甲斐路作戦、死亡事故抑止県民運動などの特別な対策がとられ、県下では、死者を一昨年をさらに下回る八十一人に抑えましたが、小笠原警察署管内では、日頃の活動にもかかわらず、死亡事故に歯止めがかりませんでした。

小笠原交通安全協会では、次のような活動に取り組んでいます。

## 「死亡事故ゼロ」へ会員一丸

小笠原交通安全協会会長 名取 和久

①無事故・無違反チャレンジ200作戦の実施 九月二十一日から四月八日までの二百日間、一チーム七人で無事故・無違反を競っています。現在三回目を数え、参加者も増え、チャレンジ中です。

②出前式交通安全教室の開催 ゲートボール場、デイサービスや老人クラブの会合などで、高齢者の事故の特徴を話し、反射材の効用を説明し、実際に靴やカバンなどに付けていただき、高齢者の交通事故防止を図っています。

③各種イベントを利用した広報啓発活動 祭典、運動会などで、高齢者と子供に交通安全をPRしています。

④着衣型チャイルドシート 小笠原警察署管内には、乳児が使用するベビーシートの無料レンタル制度があります。昨年七月から、管内に居住する人を対象に一、二週間程度、役場で貸し出しています。活用してください。

⑤婦人部学習会 婦人部の新役員を対象に学習会を開いています。婦人部の役割や交通整理の要領について勉強し、交通安全活動に一役買っています。



小笠原交通安全協会会長 名取 和久

今年も関係者のご指導ご協力をいただき、「死亡事故ゼロ」を目指して、安協役員が地域のリーダーとなり模範となつて、地域から一件でも多くの交通事故を減少させ、住み良い峡西地域づくりを目指したいと考えています。

防止、「やまなし交通安全情報」の発刊などについて活発に意見を交換しました。

### 5ブロックで研修会

県内の各地区安協は、一月から三月にかけてブロック研修会を開きました。

峡南(1月26日)、峡西・北(2月3日)、郡内(2月26日)、甲府地区(3月5日)、峡東(3月14日)でそれぞれ開かれた研修会には、県警察の一瀬交通部長、飯野交通部参事官、大森企画課長、県交通安全協会の窪田専務理事、山田参与をはじめ、各警察署の署長や交通課長、地区安協の正副会長らが出席しました。参加者は、交通安全活動や事故

## 交通安全はみんなの思いやりから

玉穂三村小5年 嶋田 修一郎



「あーっ」ぼくの前方に一年生の黄色いランドセルが二つ見え、後ろから真っ赤なスポーツカーが近づくと、そのときぼくは見た。そのランドセルが頭から、スポーツカーのタイヤではねた大きな水たまりの水をかぶったんだ。車はそのまま走り去った。ランドセルはそのままとまった。「大丈夫？」ぼくは大声をかけて、一年生に向かって走った。そのとき、一台の見たれたワゴン車とまった。車から人がタオルを持って降りる。「お父さん」お父さんは二人に近づいた。びしょびしょの二人の頭やランドセルをふいている。ぼくは、ゆっくりとお父さんの近くに行ったら、二人はお父さんについて

て。ちょっとはさかして言いにくい。ぼくのお父さんは、歩行者の横に水たまりがあるとその手前でとまり、水をかけない。歩行者が手をあげると、すぐとまる。夜、自転車が人がこつちを見るとまぶしくないようにライトをさげる。「道路は車のためにあるんじゃないか。道を歩いている人、百万人を超える。」

「お父さん、お父さんの免許の更新がなかったら、お父さんの免許を返すか?」ぼくはお父さんの車に乗り込む。「お父さん、なかなかカッコいいじゃん!」なにが? 「だっ

て。講習が始まった。ぼくがびっくりしたのは、交通死亡者数を聞いたときだ。「全国で九千人。これは、ガンの死者数よりも多い。しかも、この数には、数日後に死亡した人の数は含まれていない。けただ。交通事故の予防には、交通規則を守ることは当然のことだ。」

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店  
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL055-228-0691

# 事故ゼロが共通の願い

## 交通安全推進県民大会



交通事故の絶滅を宣言した交通安全推進県民大会

# 官民一体の対策推進 功劳、優良運転者ら表彰

平成十三年交通安全推進県民大会（主催・山梨県、山梨県警察本部、山梨県交通安全推進協議会、山梨県交通安全協会）が二月十九日、昭和町のアピオエディングラザ甲府で開かれました。

県民大会には、天野知事、渡邊県警本部警務部長、山下県交通安全協会副会長、竹越県議会副議長、風間公安委員長、奥石教育長をはじめ関係者約八百人が参加しました。主催者あいさつ、来賓の祝辞に続き、依然として増加傾向にある交通事故の厳しい現状について説明がありました。この後、「悲惨な交通事故をなくすことは、山梨県民共通の願いであり責務であり、行政と民間が一体となり交通安全対策を強力に推進すること



交通安全功労者を表彰 昭和三十九年

を、参加者全員が誓い合いました。また、昨年の中学生交通安全弁論大会で優秀な成績をおさめた白倉亜弓さん（高根中二年）と志村真斗さん（石和中二年）の熱弁に聞き入っていました。



交通安全功労者を表彰 昭和三十九年

## 県内から7人5団体 全国大会で各賞に輝く

第四十一回交通安全全国国民運動中央大会（主催・全日本交通安全協会、後援・内閣府、文部科学省など四省二団体）が一月十五日と十六日の両日、東京日比谷公会堂で開かれました。

議では、まず交通事故犠牲者に黙とうを捧げました。続いて、全日本交通安全協会の平岩外四会長があいさつし、常陸宮殿下からお言葉をいただきました。内閣総理大臣をはじめ来賓の祝辞が述べられました。この後、交通安全賞章緑十字金章・銀章、優良団体などの表彰、交通安全協力団体に対する感謝状の贈呈、交通安全年間スローガンやファミリー作りの最優秀入選者らに内閣総理大臣・内閣官房長官賞が授与されました。



山寺嘉一郎氏



伊藤重忠氏



石澤道夫氏



鈴木光三氏



三枝時彦氏



小田切文蔵氏

長  
◇緑十字金章▽交通安全功労者 山寺嘉一郎（県安協副会長・葦崎安協協会長）  
◇緑十字銀章▽交通安全功労者 伊藤重忠（県安協理事 長坂安協協会長）、石澤道夫

（県安協理事・諏訪安協協会長、鈴木光三（県安協副会長・甲府安協副会長）▽優良運転者 三枝時彦（県安協理事・都留安協会長）、小田切文蔵（県安協副会長・葦崎安協副会長）  
◇交通安全優良団体 NEC山梨大月工場、甲府市立北新小学校、上野原交通安全協会、富士吉田交通安全連帯管理者協議会、株式会社関電工山梨支店  
◇交通安全ファミリー作文・内閣官房長官賞▽小学校高学年の部 嶋田修一郎（玉穂町立三村小学校五年）  
▽小学生の部 嶋田修一郎君の作文は6面に掲載

△同・努力賞 諏訪交通安全協会、塩山交通安全協会▽交通安全功労者 秋山賢次、相川文二、小原明、佐野三郎、佐野了、前島治彦、杉岡喜美雄、小石澤栄子、高木未生、一宮嗣夫、鍋田元枝▽交通安全優良功労団体 甲府交通安全協会池田支部、池川工務店、竜岡老人クラブ、県トラック協会、南支店青年部、市川大門町社会福祉協議会、県立富士河口湖高等学校、市立下吉田小学校▽交通安全功労役員 武井智、保坂一郎、望月清雪、小野茂夫、川口香、相川貞次郎、島田祐雄、西河宏、桜井友男、服部勝子、橋爪勝、松野純一、雨宮繁、守家寛一、保坂迪宏、志村盛也、河野英三、依田初仁、米水健治、笹本久、塩田陽一、桜本仁也、齋藤喜明、依田篤造、塚原秀男、山本幸一、日向武紀、刃刀哲男、村松ユキ子、高橋みさ子、秋山和幸、清水誠、新海洋雄、中山将弘、進藤文博、植松正廣、神田まさ美、秋山貞蔵、樋口敦子、戸栗和雄、望月幸雄、岡崎美、田中重忠、佐藤善治、渡邊映一、入月幹夫、青木誠、大森幸輝、芦澤壽美、網倉正一、高野正海、堀内末光、加賀美洋、渡辺ますみ、笠井孝一、芦沢梅子、芦沢俊恵、岡久、新谷義一、小林祥天、久保田忠正、奥山千弘、早川健児、雨宮恒忠、佐藤卓男、花輪征男、内田清美、織田美和子、佐藤隆、土屋二三、杉本文正、武藤正明、渡邊廣治、白須建造、飯島富雄、渡辺恵博、山口昇吉、外川文夫、腰原章吉、堀内文子、佐藤博之、鈴木恒雄、佐藤忠三、佐々木太、阿部孝子、石井力、浅井功和、和智武文、嶋崎庄市▽優良運転者 飯島信夫、白田あけみ、坂下武、金井恒夫、窪澤静枝、山中栄一、土屋英雄、勝俣英雄、島田文彦、中島政一、窪田五郎、石坂綾織、赤澤洋夫、芦澤秀廣、土肥弥、橋本ともみ、村松五郎、古原薫、松十園義、比奈由徳之、塩川一男、小田切今朝光、坂野ふじ子、千野敏子、三枝俊、藤原時男、中山武、中沢浩治、鈴木義幸、若尾愛子、内藤正英、小澤登、藤本寛、中澤幸子、丸山政幸、鷹野利美、秋山康、佐野端子、小林昭、嶋清作、村松良朗、樋口安徳、名取弘春、深沢健郎、内田文宏、飯野政敏、手塚唯美、高嶋絵、五味喜文、望月芳平、小澤光昭、秋山新六、保坂貞、山本三、野澤忠雄、平賀和夫、宮澤文雄、矢島東、飯室金寿、功

刀正和、清水きよよ、加藤正次、砂畑覚、坂本雄造、花田登、五味はる美、小尾まさみ、窪田徳恵、入江昭子、浅川晃、仁科信一、吉沢真真、小尾和彦、小池美喜子、望月静江、望月徳三、佐伯順治、笠井太美男、若林明夫、望月義春、深沢道映、長澤祥伸、秋山茂樹、秋山始、望月佳利、北村好子、小池哲男、望月正幸、遠藤隆、近藤和福、稲葉福義、田中省吾、望月忍、遠藤博、中村昭吾、遠藤直樹、片田高丸、滝戸文昭、雨宮禮子、小笠原智恵、望月信弘、渡辺登、田中実、水上敏明、北村浩二、石川章、渡邊一夫、村松武人、河西浩一、遠藤肇、丸山孝雄、一瀬静子、加藤夏子、依田正彦、竹内武彦、沢久、高橋喜男、鶴田陽子、白城千秋、風間清治、坂本茂子、竹下光廣、降矢和子、西村英俊、白澤聰壽、山本マサ江、三枝嘉雄、藤原厚子、市川七津恵、藤原順子、芦澤深造、奥山好延、岡秀一、三枝勇、遠山さつき、早川久光、渡辺健一、田辺嘉盛、浅野一孝、古原琢美、網野詮季、新田理、関野利彦、三森徹彌、三枝林、古原栄次、嶋野美好、羽澤俊郎、杉本喜重、関野修一、小笠原久子、高部千代子、石川兼男、長沼勝男、田辺良雄、藤原かず代、宮沢絹子、日向八千代、杉本よね子、落合勇夫、小池猛、小田新一郎、井出新助、市来辰夫、柴田信夫、半田豊通、土屋芳敏、宮下郁夫、太田紀代司、岩村広道、渡辺義道、鎌倉政文、高山賢、仲沢忠雄、森川良一、土屋正彦、天野吉康、堀内信行、下田昭昭、宮下安典、佐野礼子、清水富貴子、河野清澄、近藤文博、杉本章二、佐藤明、長坂幸男、西室由美、中村新一、天野治子、天野高江、相馬茂子、鹿取将次、清水冷子、山口末男、小俣和巳、細貝正徳、一宮律子、和智忠夫、佐藤隆、船木加章、河村清一、高石秀彦、藤原勝人、宮川中夫、松橋靖夫、飯島佳昭、小林明、秋山操六、松田文雄、内田康行、初鹿和磨、長田仁、水野義昭、小池洋一、藤原雅一、窪田文雄、清水連平、富山克彦、吉田ミエ、丸山みちる、五味誠、佐野理恵、杉山康雄、塚越和彦、野沢利広、藤本直樹、小沢昌路、藤原節、岡田隆

◇山梨県交通安全協会会長表彰▽優良職員 坂本美里、山田栄明、藤橋真巳、西室久子、鈴木努、中澤剛、野口武彦、横瀬美知子

■平成12年の交通事故発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数		
			重傷	軽傷	計
平成12年	7,525件	81人	782人	9,153人	9,935人
平成11年	6,636件	83人	789人	7,995人	8,784人
増減数	+889件	-2人	-7人	+1,158人	+1,151人
発生状況	+13.4%	-2.4%	-0.9%	+14.5%	+13.1%

県警察交通企画課がまとめた「平成十二年の交通事故発生状況とその特徴」によると、昨年の交通事故死者数は一昨年を二人下回り八十一人で、しかし、事故件数と負傷

# 死者減 件数と傷者は増加

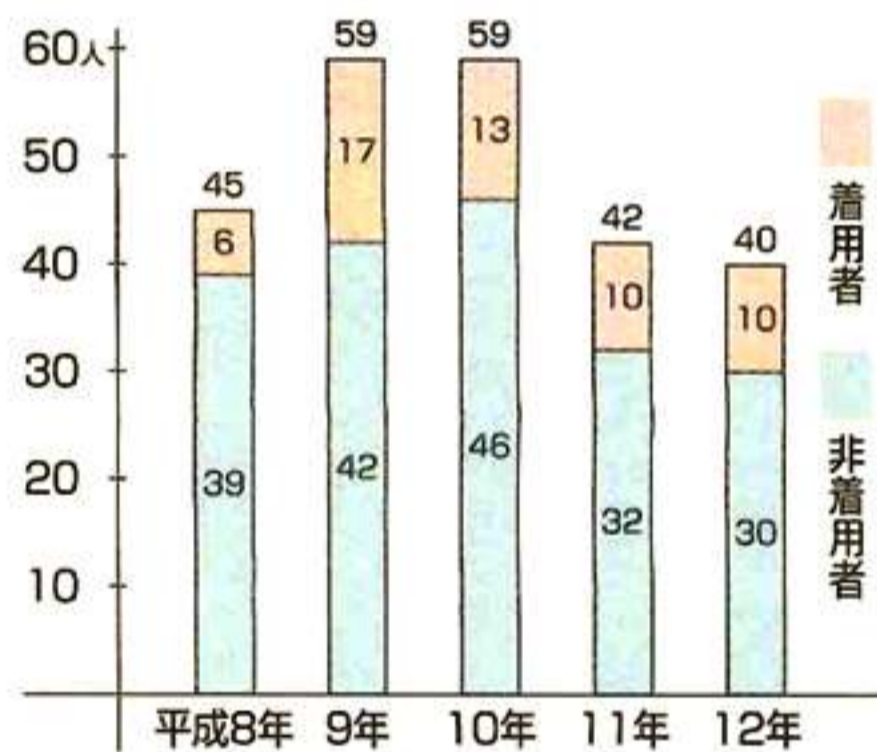
## シートベルト非着用が高水準 飲酒死亡事故も目立つ

人口十万人当たりで見ますと、死者数は九・一八人で依然として全国平均の七・二二人を上回っています。飲酒運転が原因の死亡事故が、相変わらず多いのが特徴です。飲酒運転による死亡事故は、十五件、十五人で、全死亡事故件数七十八件のうち

### ◎死亡事故の特徴

平成十二年中、県内で発生した交通事故の発生件数は七千五百二十五件で、前年を八百八十九件上回り一三・四％の増加となりました。傷者数は九千九百三十五人で、前年を千五百一十一人上回り、一三・一％の増加でした。死者数は、五十九人を記録した昭和三十四年以来、四十年ぶりに最少数にとどめた前年よりも、さらに少なく、交通死亡事故の抑止策が功を奏した結果となりました。

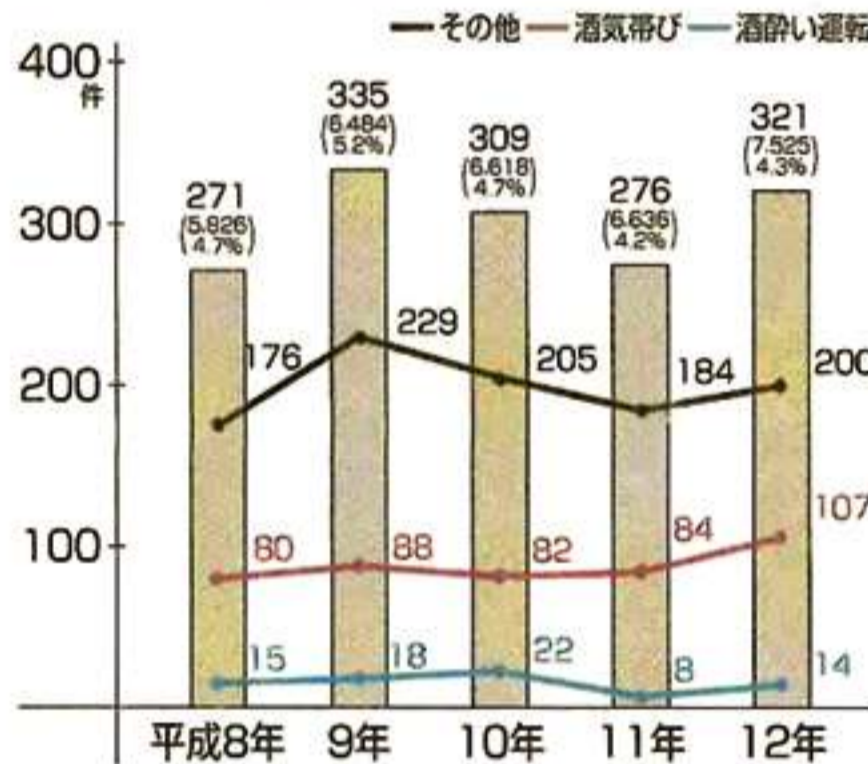
### ■自動車乗車中の死者数推移とシートベルト着用の有無



死亡事故を年齢別にみますと、高齢者（六十歳以上）と若年者（十六歳から二十四歳）の死者数が四十五人で、全死者の五五・六％を占めています。なかでも、若年者が主な事故原因者であった第

一当事者となった事故も増加傾向にあります。平成十二年は、前年比一五・七％増の二千二百五十三件でした。飲酒運転が原因の交通事故は、減少傾向にありましたが、平成十二年には増加に転じました。全事故発生件数に対する比率は四・三％で、前年を〇・一％上回り、依然として四％を超えています。酒酔い運転の事故は十四件で、六件増えました。飲酒運転は、自

### ■飲酒事故発生状況の推移 (カッコ内は全事故件数、構成比の順)



乗車に乗っていても負傷する人が増加しています。平成十二年には五三・六％を占めました。原付自転車に乗車中の負傷者数も増加傾向を示しています。女性ドライバーが

「セーフティドライブ・チャレンジャー」の達成チームを表彰し、甲府・小瀬スポーツ公園武道館に定める予定です。

## 平成12年の交通事故発生状況

### ◎件数は13・4％増

者数は、統計史上最悪となつてしまいました。昨年の事故状況を分析してみます。

平成十二年中、県内で発生した交通事故の発生件数は七千五百二十五件で、前年を八百八十九件上回り一三・四％の増加となりました。傷者数は九千九百三十五人で、前年を千五百一十一人上回り、一三・一％の増加でした。死者数は、五十九人を記録した昭和三十四年以来、四十年ぶりに最少数にとどめた前年よりも、さらに少なく、交通死亡事故の抑止策が功を奏した結果となりました。

シートベルト非着用の死者は十人（着用率二五％）、非着用者三十人のうちシートベルトを着用して死ななかった人は、いづれも注意深く運転しなければならぬ場所です。

飲酒運転は、交差点やその付近、カーブなどで三十九件が発生し、全死亡事故の五〇％を占めています。事故現場は、いづれも注意深く運転しなければならぬ場所です。

## 交通事故防止に総力

県警察交通部長 中楯 治人



まずまず進展する「くるま社会」において、安全を確保し、快適な交通環境を実現するためには、ドライバーや歩行者など道路交通に関わるすべての人々が、交通安全を自分自身の問題として考え、交通ルールを遵守し、人を思いやる高い交通マナーを身につけることが必要です。お願ひ申し上げます。

また、飲酒運転や無免許運転、あるいは暴走族等による共同危険行為等に対する罰則強化を伴う道交法の一部改正を検討するなどの皆さ方のお力をお願ひ申し上げます。

## 無事故・無違反 チームを表彰

安全運転チャレンジャー 県交通対策推進協議会（天野建会長）は、二月十六日に甲府・小瀬スポーツ公園武道館アリーナで、県警察、県交通安全協会など交通関係団体の協賛を得て展開した「セーフティドライブ・チャレンジャー」の表彰式を開きました。

チャレンジャーは県内に居住または勤務し、原付自転車を含む自動車運転免許の所有者十人で構成するチームが二百日間、無事故・無違反を競い合い、目的を達成したチームが表彰されるというものです。今回は、過去最高の二千三十六チームの二万三千六百十人が参加して競う大規模な大会となりました。

無事故・無違反は、参加した二千二百四十四チーム（五九・一％）、個人では一万九千二百四十三人（九四・五％）が達成しました。表彰式では達成チームの代表者に、天野会長から表彰状と記念品が贈られました。

県交通対策推進協議会は、平成十三年度の参加目標を三千チーム、三万人に定める予定です。



「セーフティドライブ・チャレンジャー」の達成チームを表彰し、甲府・小瀬スポーツ公園武道館に定める予定です。

★各種の免許（大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許）の取得ができます。

★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
公認 山梨自動車学校  
中巨摩郡八田村野牛島1828  
(免許センター内)  
TEL (055) 285-0752



# 山梨県建設業協会

山梨県交通安全協会が発行してきた「安協ニュース」が、内容を充実して衣替えし、「やまなし交通安全情報」として県下全世帯に配布されることになりました。交通事故防止の取り組みに対し、敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

交通事故は、大切な人命と財産に大きな損失をもたらします。被害者も加害者も、以後の人生を破壊させてしまう恐ろしいものです。道路や車は非常に便利なものですが、正しく使用されなければ、かえって危険なものになります。

道路は人類の歴史の中でも早く作りだされた社会資本ではないでしょうか。獣を追って出来た森の中の小道から、現代社会の動脈の働きをする近代的な道路に発達してきました。経済活動に道路は必要不可欠なものです。災害が発生した時には、整備された複数の道路が、救助や物資の輸送に機能を発揮します。

## 道路を花で飾り安らぎ演出 除雪に出動、安全を確保



重機も動員し除雪作業に大車輪の活躍

道路は作ることも大変ですが、後の管理も重要です。交通事故、交通混雑、災害発生時に対応するほか、道路を取り巻く環境についても考えていかなければなりません。排ガス、騒音などの交通公害への対処、また、沿道への植樹、花壇へ花を植えることなど、積極的な環境美化も大切です。



道路を花で飾り環境美化

建設業界は、道路などの社会資本を建設する立場から、た人達の共通した気概です。道路の機能だけを追求するのはではなく、利用者にと安らぎの心を持つてもらうことも大事です。交通事故の減少にもつながります。建設業協会は「花いっぱい運動」に協力し、各支部ごとに毎年、主要道路の中央分離帯や路側帯に花を植えています。パンジーやペゴニヤ、マリゴールドなどが、色鮮やかに沿道を飾ります。花壇の除草、土起こし、植付けと労力も費用もかかりますが、きれいな道路が地域環境の向上につながることを期待して、協会のメンバーは汗を流しています。

交通安全にも深い関わりを持っていきます。建設業協会の活動から道路に関係する活動を紹介いたします。

今年の一月は、例年になく多くの雪が降りました。特に一月二十七日の降雪は平成十年と同じくかなりの大雪になり、交通機関に大きな混乱と被害が生じました。雪の影響を最小限に抑えるには、除雪を速やかにすることです。建設業協会は各支部ごとに県と協定を結び、大雪が予想

## 自動車安全運転センター

自動車安全運転センターでは、さまざまな業務を進めています。

1 運転経歴の証明 運転者の求めに応じて、無事故・無違反、運転記録、累積点数、

### 無事故の証明・SDカード

### 累積点数を書面で通知



SDカード

どに備え付けてあります。手数料は、一通につき七百円。郵便振替による申請の場合は、振込手数料が必要です。無事故・無違反証明書、あるいは運転記録証明書の申込者が一年以上、無事故・無違反であった場合、安全運転者であることを表すSDカードを渡しています。

地域ぐるみ・街ぐるみで交通事故防止対策に取り組もうというのが、SDカードの所持者を優遇する制度です。SDカード所持者に対し、マイカーローンの金利を優遇したり、ガソリン代や食事代を割り引く店が増えています。

点(行政処分の前歴が一回ある場合には四点)になると、運転免許の停止処分を受けることとなります。そこで、その直前の点数、例えば四点または五点になった人に、交通違反や事故を起こさないように書面で通知しています。

## JAF(日本自動車連盟)



故障車の救援に向かうJAFのレッカー車(写真上)とJAF山梨ロードサービスセンターのステッカー(写真下)

24時間全国どこでも  
#8139  
JAFにおまかせ  
JAF山梨ロードサービスセンター  
055-241-0111  
高速道路では非常電話からJAFをご指名下さい。

夏場の休日ともなれば、JAFへの救援コールがひっきりなしに鳴ります。ドライバーからのSOSです。

電氣系トラブルが全体の三五%前後を占めます。故障の内訳は「バッテリー過放電」をはじめ「充電回路」、「バッテリー破損・劣化」などさまざまです。

高速道路では、三位が冷却系(オーバヒート)と事故です。二位は燃料切れ(ガスの欠、一位がタイヤです。タイヤのパンク・バーストは、命にかかわります。時速八十から百というスピードでパンク・バーストが起こったとしたら、言うまでもなく生死を分ける問題です。

### 夏場に多いパンク・バースト 高速道で生死を分ける

幸い事故には至らなかったものの、夏場の救援依頼のうち十台に二台はパンク・バーストの危険に遭遇しています。これから、暑い夏に向かいます。出掛ける前にタイヤの空気圧、亀裂の有無、バッテリー・ベルト類の点検を、忘れないでください。